

症例の概要

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置
1	女 60代	再発乳癌 (なし)	2 mg/body [投与回数] 計 2 回： 1日1回×2	<p>皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson症候群)</p> <p>第1サイクル 本剤 2 mg/bodyの投与を開始。 1回目 初回投与3日目 ゴ瘡様皮疹の出現を認めた。 第1サイクル 本剤 2 mg/body投与。投与後に皮疹の悪化を認めた。 2回目 (投与中止) 中止 2 日後 顔面、頭部にゴ瘡様皮疹あり、皮膚科を紹介した。 中止 7 日後 体幹部、両腋窩の発赤、表皮剥離があり、再度皮膚科を紹介。ニコルスキー現象があり、パンチ生検で皮膚粘膜眼症候群 (SJS) に矛盾ない所見であった。メチルプレドニゾン 500mg/日投与を開始し、投与中止 9 日後まで同量を投与した。 中止10日後 メチルプレドニゾン50mg/日に減量した。 ステロイド投与前は口腔内の粘膜びらんを認めたが、ステロイドミニパルス後に改善した。 中止12日後 体幹の紅斑消退し、水疱の新生なく病勢はピークを超えたと判断。以降、メチルプレドニゾンを漸減。 SJSは軽快。 中止58日後 病勢進行により死亡。</p>
併用薬：メコバラミン， エスゾピクロン， フロセミド， ウルソデオキシコール酸， スルファメトキサゾール・トリメトプリム				